

自民党

磯崎陽輔氏

(参院議員・大分選挙区)



「参院の合区解消と1票の格差是正には憲法改正しかない」と語る磯崎陽輔氏

―農林水産副大臣として、農業政策の方向性は。農業所得の向上が目標だ。それが持続的な農業につながる。就任から農業改革を進め、昨年は多くの法案が成立した。今後は林業

・水産業の所得向上も含めて全力を尽くしたい。

―2018年産米から国の生産調整(減反)が廃止される。今後の見通しは。農業者も経営意識を高めるのが重要で、ブランドや

需給を見て自ら生産量を考へてほしい。国は見放すのではなく、判断材料となる情報を発信する。結果的に農家、消費者双方に適切な米価となつてほしい。

―減反した農家への直接支払い交付金が廃止される。18年度予算案の狙いは。少ない。日本一の豊後牛など都市圏の市場に出すには水田活用で飼料用米や大豆へ転作するなど、転作関

係予算は十分確保している。直接の所得補償よりせい。良い素材をどう消費者へ届けるかが重要になる。

農林水所得増へ全力

―今後の見通しは。調整には憲法改正

―憲法改正の考えは。9条は安倍晋三総裁と同じく、自衛隊を憲法上に位置付けるべきだ。参院の合区は2県で1人を選ぶのは有権者がづらい。一方で最高裁は1票の格差を重視しており、両者の調整には憲法改正

―今後の見通しは。昨年

―今後の見通しは。昨年